JCL TEAM UKYO

Tour de Taiwan

第4ステージ / 佛光山仏陀記念館 – 高雄国家体育場 146.4km

アンドレア・ダマートがスプリントで 4位！小石勇馬は「アジア最優秀選手」ジャージをキープ！

開催日：3月19日
コース：佛光山仏陀記念館 – 高雄国家体育場（146.4km）
参加チーム：23チーム（プロチーム 6、コンチネンタルチーム 14、ナショナルチーム 3
出走選手数：113人
JCL TEAM UKYOメンバー：小石祐馬、山本正喜、シモーネ・ラッカーニ、ニコロ・ガリッボ、アンドレア・ダマート
JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト： https://www.tourdetaiwan.org.tw/index_en.php
JCL TEAMUKYO公式サイト：https://jcl-team-ukyo.jp/
Live 配信：https://x.gd/ZDA5P
Photo：https://x.gd/39kfn

UCI CONTINENTAL TEAM

総合争いが激化した2日間を経て、第4ステージはスプリンター向けの展開が予想されていました。 146.4kmのコースには3つのKOMが設定されていましたが、いずれもゴールから遠く、総合争いに大きな影響を与える可能性は低いものでした。
最初のKOM(3級)は56km地点
2つ目のKOM(2.7km・勾配5.9%)はステージの中間地点
3つ目のKOM(500m・勾配3%)はゴールまで遠い位置
特に2つ目のKOMが唯一の攻撃ポイントでしたが、最後の 50kmが完全に平坦だったため、スプリント勝負になる可能性が高いステージでした。
JCL TEAM UKYOは、アンドレア・ダマートのスプリントに備えてエネルギーを温存しつつ、チームの総合リーダーであるシモーネ・ラッカーニを守る戦略を採用しました。

レース序盤から、多くの選手が逃げを試みる展開となりましたが、すべてのアタックが吸収されました。
1回目のスプリントポイントを通過した直後に、ガリッボ、小石を含む 6名が飛び出しますが最大 1分ほどのリードしか得れず2回目のKOMを過ぎたところで吸収され、新たに 3名が飛び出しました。
ブレイディ・ギルモア(Israel - Premier Tech)
ダニエル・カビア・サンツ(Burgos-BH)
タリ・レーン・ウェルシュ(Ccache X Bodywrap)
の強力な3名は最大で40秒のリードを獲得しました。
しかし、プロトンは冷静に状況をコントロールし、この逃げは 2回目の中間スプリントまで維持されました。ギルモアはこのスプリントを制し、3秒のボーナスタイムを獲得。この結果、ステージ終了後に総合リーダー(イエロージャージ)に浮上しました。
2回目の中間スプリントを通過した直後にこの 3名も吸収され集団は 1つに。
残り25kmのところでガリッボ、ラッカーニを含む 7名が飛び出します。
残り10km地点に設けられた3回目の中間スプリントをラッカーニが先頭で通過で 3秒を獲得し総合 6位まで1秒差に詰めました。
また、2位に入ったガリッボが他の選手にタイムを取られないよう 2秒を獲得しました。
最大40秒のリードを得たこの逃げは残り 5km地点で吸収され、ゴールスプリントの展開に。

JCL TEAM UKYO

Israel - Premier Tech のイタマール・アインホルンが力強いスプリントで優勝！
フィリッポ・フォルティン (Solution Tech)が2位、ポール・エネカン (Euskaltel)が3位に入りました。
JCL TEAM UKYOのスプリンター、アンドレア・ダマートはスプリントの出だしで少し出遅れましたが、素晴らしい加速を見せて4位でフィニッシュ！
シモーネ・ラッカーニは、総合 7位（+12秒）をキープしました。
小石勇馬もメイン集団でゴールし、「アジア最優秀選手」ジャージを維持！

アンドレア・ダマートのコメント
「2日間の厳しいレースの後、今日は少し楽に走ることができた。集団内でエネルギーを温存し、最後のスプリントに集中できた。トップスプリンターたちの動きを見ながら加速したが、スタート位置が少し後ろすぎたため、　4位に終わった。でも、良いスピードを出せたし、明日のスプリント勝負が楽しみだ！」

TOUR DE TAIWAN STAGE 4 RESULT:
1. Itamar Einhorn (Israel - Premier Tech) – 3h08’34”
2. Filippo Fortin (SOLUTION TECH VINI FANTINI) – s.t.
3. Paul Hennequin (Euskaltel-Euskadi) – s.t.
4. Andrea D’Amato (JCL TEAM UKYO) – s.t.

TOUR DE TAIWAN STAGE 4 GC:
1. Brady Gilmore (ISRAEL-PREMIER TECH) – 11h10’50”
2. Moritz Kretschy (ISRAEL - PREMIER TECH) – s.t.
3. Jordi Lopez Caravaca (EUSKALTEL-EUSKADI) +6”
7. Simone Raccani (JCL TEAM UKYO) – +12”

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ：KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼（広報）Mail：tamura@kplanning.co.jp　TEL：090-44551-4021
増田 深雪（広報） Mail : m-masuda@k-planning.co.jp

UCI CONTINENTAL TEAM
MITSUBISHI MOTORS　ANEST IWATA　YOKOHAMA　MJS　GOODSMILE COMPANY　KYB　竹中土木　ゼンリンナビ　SUBARU
SHIMANO　FAUTOR　iGPSPORT　vittoria　LAZER　Challenger　THULE　ELITE　WAKOS